

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 外国語 科目 論理表現Ⅱ

教科：外国語 科目：論理表現Ⅱ 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（加藤・西川・森・山本）

使用教科書：（be English Logic and Expression 1、be English Logic and Expression 2）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】場面、状況などに応じて発する英文の基本的な規則や事項を身に着けている。

【思考力、判断力、表現力等】場面、状況などに応じて自ら考えて正しい英文を作ることができる。

【学びに向かう力、人間性等】背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に取り組もうとしている。

科目 論理表現Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の特徴やきまりに関する事項を理解する。目的や場面、状況などに応じて正しい英文を構築する。	学習した内容を使い、目的や場面、状況などに応じて自ら英語を発し、コミュニケーションをとる。	学習した内容を深め、定着させるために積極的に課題に取り組む。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）	書						
1 学 期	英文の基本的な構造や法則を学び、実際の場面でそれらの知識を使ってコミュニケーションをとることのできる力を養う。	be Clear I Lesson 16 関係代名詞 Lesson 17 関係副詞	○	○	○	○	○	【知識及び技能】ポイントとなる文法事項を理解し、正しく使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】既習の文法事項を用いて英文を読んだり書いたりすることができる。 【学びに向かう力】学習したことを元に積極的に課題に取り組む。	○	○	○	10
	定期考査								○	○		1
	英文の基本的な構造や法則を学び、実際の場面でそれらの知識を使ってコミュニケーションをとることのできる力を養う。	be Clear I Lesson 18 比較（原級・比較級）	○	○	○	○	○	【知識及び技能】ポイントとなる文法事項を理解し、正しく使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】既習の文法事項を用いて英文を読んだり書いたりすることができる。 【学びに向かう力】学習したことを元に積極的に課題に取り組む。	○	○	○	5
	英文の基本的な構造や法則を学び、実際の場面でそれらの知識を使ってコミュニケーションをとることのできる力を養う。	be Clear I Lesson 19 比較（最上級）	○	○	○	○	○	【知識及び技能】ポイントとなる文法事項を理解し、正しく使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】既習の文法事項を用いて英文を読んだり書いたりすることができる。 【学びに向かう力】学習したことを元に積極的に課題に取り組む。	○	○	○	6
	定期考査								○	○		1
2 学 期	英文の基本的な構造や法則を学び、実際の場面でそれらの知識を使ってコミュニケーションをとることのできる力を養う。	be Clear I Lesson 20 仮定法	○	○	○	○	○	【知識及び技能】ポイントとなる文法事項を理解し、正しく使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】既習の文法事項を用いて英文を読んだり書いたりすることができる。 【学びに向かう力】学習したことを元に積極的に課題に取り組む。	○	○	○	5
	英文の基本的な構造や法則を学び、実際の場面でそれらの知識を使ってコミュニケーションをとることのできる力を養う。	be Clear I Grammar Plus 仮定法を使う表現	○	○	○	○	○	【知識及び技能】ポイントとなる文法事項を理解し、正しく使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】既習の文法事項を用いて英文を読んだり書いたりすることができる。 【学びに向かう力】学習したことを元に積極的に課題に取り組む。	○	○	○	6
	定期考査								○	○		1
	英文の基本的な構造や法則を学び、実際の場面でそれらの知識を使ってコミュニケーションをとることのできる力を養う。	be Clear II Lesson 1 時制 Lesson 2 名詞句・名詞節 Lesson 3 助動詞 未来の表現、進行形、動名詞、助動詞を使う表現	○	○	○	○	○	【知識及び技能】ポイントとなる文法事項を理解し、正しく使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】既習の文法事項を用いて英文を読んだり書いたりすることができる。 【学びに向かう力】学習したことを元に積極的に課題に取り組む。	○	○	○	5
	英文の基本的な構造や法則を学び、実際の場面でそれらの知識を使ってコミュニケーションをとることのできる力を養う。	be Clear II Lesson 4 形容詞 Lesson 5 形容詞句 Lesson 6 関係詞 Lesson 7 副詞 Lesson 8 副詞句 Lesson 9 副詞節	○	○	○	○	○	【知識及び技能】ポイントとなる文法事項を理解し、正しく使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】既習の文法事項を用いて英文を読んだり書いたりすることができる。 【学びに向かう力】学習したことを元に積極的に課題に取り組む。	○	○	○	6

